

「寒河江市立新中学校施設整備基本構想（案）」へのパブリックコメントの結果について

「寒河江市立新中学校施設整備基本構想（案）」について、令和7年2月19日から令和7年3月18日まで、パブリックコメントを実施しましたが、その結果は次のとおりです。

1 意見募集期間

令和7年2月19日から令和7年3月18日まで

2 意見の件数

意見提出者数 2件

No.	意見の内容	市の考え方
1	3人の幼児を育てる親です。部活動改革に係るアンケートもみました。地域クラブに移行すること、やむを得ないと思います。親の不安の一位は、送迎の負担でしたので、文化系に関しては、地域クラブでも利用できる“地域クラブ活動棟”のような設備を作るのはどうでしょう。アンケート結果をみると、わたし達が子どもの頃よりロボットや芸術など文化系への関心が高いように感じました。例えば古い公民館などでやるよりも、整った施設があれば活気が出そうです。広い敷地、駐車場を確保して、土日は河北や大江（西村山）の子達も呼べたら交流の輪が広がっていいなと思います。どんな中学校に入学できるのか、楽しみです。	部活動改革に係るアンケート結果をご確認いただきましてありがとうございます。 ご提案いただきました地域クラブの活動場所については、部活動改革の状況を踏まえながら、活動がしやすい設備となるように、駐車場等も含めて検討を進めてまいります。 ご提案いただきました西村山の子どもたちとも交流の輪を広げられるようにとのことについては、スポーツ関係も含めて西村山地域の生徒が集う地域クラブの設立も関係団体に働きかけながら、検討を進めてまいります。 子どもたちにとってよりよい教育環境を早期に実現できるように、準備を進めてまいります。
2	約1000人規模の大規模中学校一校には多くの課題があり、中規模校2校に見直すべきと考えます。これまでも市民のみなさんと「学校再編を考える会」を結成して、学習会なども開催し学校再編問題を考え、市長、市教育委員会とも何度も懇談、要請してきました。市教委がおこなったパブリックコメントでも意見の約7割の方が、大規模中には懸念や疑問を出していました。また、「考える会」が提起した「校見直し署名」には約1300人の賛同署名が寄せられ、市にも提出してきました。 しかし、市教委からは大規模校1校になった場合の懸念や不安に納得できる説明はありませんでした。いま中学の不登校生徒が72名と増え、また、発達障害をもつ子どもたちが増えている中、一人ひとりの生徒の成長や安心できる教育環境を保障すること、また、対応する先生方の負担が増やさないた	今後の生徒数の状況、様々な個性や考えを持つ人との出会いによる社会性や協調性の育成、教育資源や財源等の集中によるより優良な教育環境の構築、教員数の増加とバランスのとれた教職員の配置による学習面や生徒指導面での指導や支援の質の向上等を考慮し、中学校を1校にすることとしました。ご理解いただければと思います。不安が解消されるように今後も説明等を行ってまいります。 ご指摘いただいた不登校や発達障がいのお子さんへの対応については、今現在起きている問題ですので、市の会計年度職員として中学校への別室対応の教育相談員の配置、市の適応指導教室である寒陵スクールの教育相談員による家庭への訪問指導や寒陵スクールの開所時間の延長の検討、特別支援学級への支援員の配置等、現在も対応をしております。統合中学校におきましても、きめ細かな対策を行い生徒の居場所づくりや安心感の醸成に努

め、1000 人の大規模校 1 校の計画は見直すべきと考えます。 西部地区の説明会でも意見がだされた、スクールバスの運行、通学中の子どもたちへの配慮、経費、運転手の確保なども、十分な説明がなされていません。	力し、あわせて、先生方の負担軽減に努めてまいります。 通学方法については、これまでの説明会等でいただいたご意見なども踏まえ、来年度に設置する予定の準備委員会において検討いたします。
---	--